

2017年2月1日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 木本 茂
 コード番号 8233
 連絡先 広報・IR室長 園田 早苗
 (大阪) 06-6631-1101
 (東京) 03-3211-4111

2017年1月度 高島屋店頭売上速報

百貨店概況 (前年比 単位:%)

(株)高島屋単体 13店舗	+0.7
(株)高島屋単体 および国内百貨店子会社 17店舗	+0.3

※国内百貨店子会社は、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋の4店舗です。

○1月度の店頭売上は、土曜日が前年比△1日減だったものの円安や株高の影響もあり、免税売上や高額品が好調に推移し3ヵ月連続で前年比プラスとなりました。

○免税販売額は、好調な化粧品のほか、宝飾品など一般品も前年を上回り、前年比+38.8%となりました。

店舗別売上高概況 (前年比 単位:%)

関西地区

高島屋単体 5店舗	子会社 含む8店舗	大阪店		京都店		泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
		単独		単独					
+2.0	+1.0	+3.9	+3.2	+0.2	+0.3	+0.2	△2.4	△4.0	△17.5

※大阪店の売上高は堺店を、京都店の売上高は洛西店を含みます。
 ※岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

関東地区

高島屋単体 8店舗	子会社 含む9店舗	日本橋店	横浜店		新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
			単独							
△0.1	△0.1	△2.4	+0.2	△1.1	+2.4	+2.1	△4.0	△1.2	+3.3	0.0

※横浜店の売上高は港南台店と「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン 海老名店」を含みます。
 ※柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」を含みます。

○商品別売上は、コートなどの防寒衣料は堅調に推移したものの、紳士服（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）・婦人服が前年実績を下回ったほか、子供服、リビング用品が前年比マイナスとなりました。一方、株高による資産効果やインバウンド需要などにより、特選衣料雑貨・宝飾品など高額品や、化粧品を中心に好調な婦人雑貨が前年実績を上回ったほか、紳士雑貨・食料品も前年比プラスとなりました。

○店舗別売上は、大型店ではインバウンド需要が好調な大阪店・新宿店のほか、京都店・横浜店が前年比プラスとなりました。地方郊外店では玉川店・柏店・泉北店が前年実績を上回ったほか、高崎店は前年並みとなりました。

○関西地区8店舗で前年比+1.0%、関東地区9店舗で同△0.1%となり、17店舗合計で同+0.3%となりました。